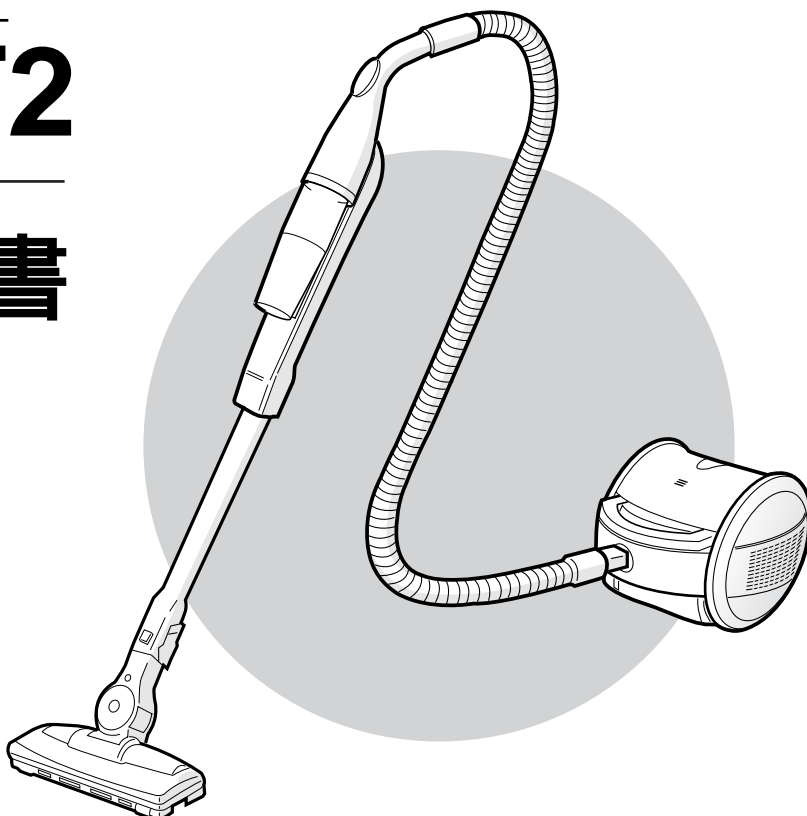
SHARP®

掃　除　機

形名

イー　シー　　エイ　ティー
EC-AT2

取扱説明書

使いはじめ

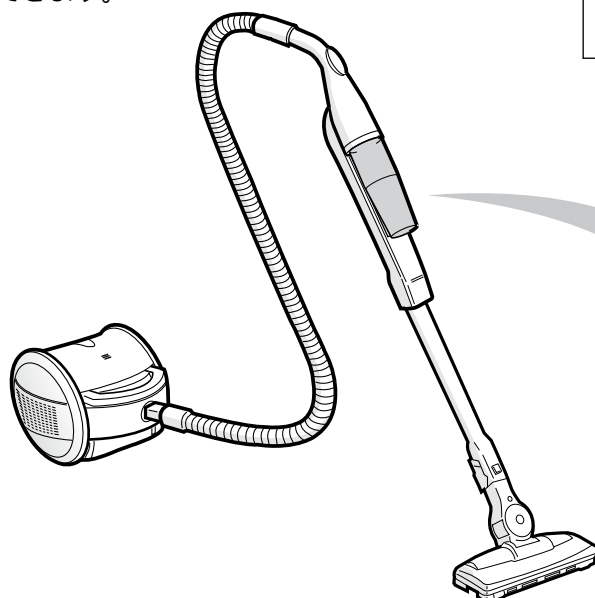
使いかた

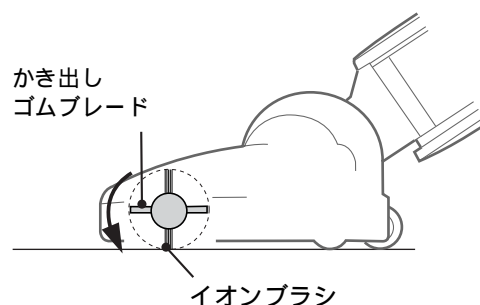
その他

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

吸じん力が持続し、排気もクリーン、お手入れ簡単サイクロン吸じん

〈ごみと空気を遠心分離〉

- 紙パックがないので、ごみが溜まっても、使い始めの吸じん力が持続します。
- ダストカップをはずして簡単にごみ捨てできます。

マイナスイオンの力で床面をきれいに 〈タービンヘッド(吸込口)〉

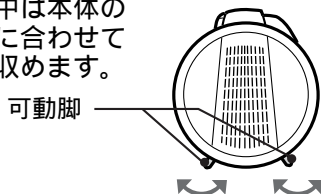
- 吸込口の前面・側面の吸気口から空気を吸い込み、イオンブラシと、かき出しゴムブレードを採用した回転ブラシが回転し、じゅうたんにからんだ毛髪、奥まった所にある砂ごみをかき出し、吸うだけでは取りにくいごみやほこりもしっかり吸じんします。

Ag＋(銀)イオン加工した帯電防止ダストカップで、ごみ処理もきれいに

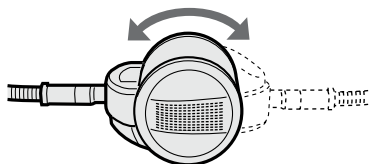
- Ag⁺(銀)イオンがダストカップ内の雑菌の繁殖を抑え、清潔さをキープします。＊1
- カップ内で発生する静電気の帯電を防いで、静電気によるほこりの付着を抑えます。

＊1　Ag⁺(銀)イオンの効果

部品名	ダストカップ(ABS樹脂)
試験機関	(財)日本紡績検査協会
試験方法	フィルム密着法
除菌方法	樹脂に練り込み
有効成分	無機系抗菌剤(銀イオン)

サッと簡単スタンド収納「ラクラクマジックスタンド」

- 2本の可動脚により本体を立てるだけで楽にスタンド収納ができます。
- 走行中は本体の動きに合わせて脚を収めます。

お掃除中に横転しない「エッグスタイル」

- 本体は前後に180度反転して使えるので、お掃除中に方向が変わっても、横転することがありません。

HEPA(ヘパ)クリーンフィルター集中排気機構

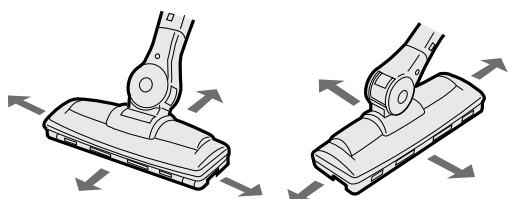
- 排気はすべて、0.3マイクロメートル以上の微細塵をしっかりとらえる、HEPAクリーンフィルターを通って排出されます。

耳に聞こえる音が強モードの約半分※「優しさモード」

- 「優しさモード」ボタンを押すと、「強」モードより約10dB音が小さくなります。

※耳で感じる音の大きさの比較(音の感覚量SONE値の比較)。10dB下がれば、SONE値は約1/2となります。

タテ・ヨコ走行自在の"奥の手"機能

- 手首をひねるだけで、吸込口がタテ向きに。
- 自在車輪で前後左右に走行自在。

もくじ

安全上のご注意はご使用前に必ずお読みください。4～5ページ

ページ

使いはじめ

使いかた

その他

安全上のご注意

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。
その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ 警　告
人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

⚠ 注　意
人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

禁止
してはいけないことを表しています。

分解禁止
分解や修理改造の禁止を表しています。

ぬれ手禁止
ぬれた手で触れてはいけないことを表しています。

水ぬれ禁止
ぬらしてはいけないことを表しています。

接触禁止
触れてはいけないことを表しています。

火気禁止
火気を近付けてはいけないことを表しています。

必ず実施
しなければならないことを表しています。

プラグを抜く
必ず差込プラグをコンセントから抜くことを表しています。

● 「安全上のご注意」は使う前に必ず読み、いつでも見られる所に保存しておいてください。

⚠ 警　告

禁止

灯油・ガソリン・可燃性ガス・タバコの吸殻・線香などを吸わせない。
トナーなども吸わせないでください。火災の原因になります。

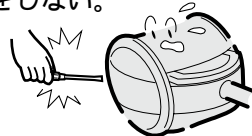
傷んだ電源コードや差込プラグ・ゆるんだコンセントは使用しない。
感電・ショート・発火の原因になります。

禁止

電源コードを傷付けたり、無理に引っ張ったり、曲げたり、ねじったり、重い物を載せたり、挟み込むなどしない。
電源コードが傷み、火災・感電の原因になります。

電源コードを回転ブラシの回転部分に巻き込ませない。
電源コードの損傷により感電することがあります。

分解禁止

絶対に分解したり修理改造をしない。
火災・感電・けがの原因になります。修理はお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

ぬれ手禁止

濡れた手で差込プラグの抜き差しはしない。
感電やけがのおそれがあります。

水ぬれ禁止

水洗いや、風呂場などの湿気の多い所での使用、水の吸込みは、絶対にしない。
感電やショート・発火の原因になります。
(ダストカップ・内筒・吸込口・回転ブラシ・フィルターは、水洗いできます。)

接触禁止

回転ブラシの可動部には触れない。
手などにけがをすることがあります。とくにお子様にはご注意ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない。
他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火の原因になります。

必ず実施

差込プラグのほこりなどは定期的にとる。
差込プラグにほこりなどが溜まると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。差込プラグを抜き乾いた布で拭いてください。

差込プラグは根元まで確実に差し込む。
差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因になります。

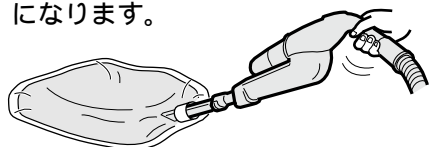
プラグを抜く

お手入れ・点検の際は、必ず差込プラグを抜く。
感電やけがのおそれがあります。

⚠注　意

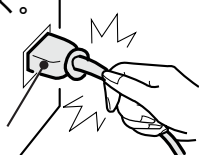
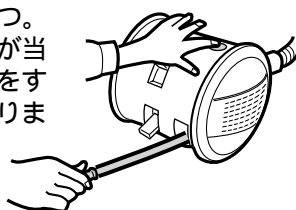
排気口をふさがない。
火災の原因になります。

引火性のもの(ガソリン・ベンジン・シンナー)の近くで使用しない。
爆発や火災の原因になります。

吸込口をふさいで長時間運転しない。
過熱による本体の変形・発火の原因になります。

ホース差込口・ホース・樹脂製ズームパイプの接点、排気口に金属類・ピンなどを入れない。
感電や故障の原因になります。

火気に近付けない。
本体の変形によるショート・発火の原因になります。

差込プラグを抜くときは、必ず差込プラグを持って抜く。
感電やショートし発火することがあります。

差込プラグ

電源コードを巻き取るときは、差込プラグを持つ。
差込プラグが当たってけがをすることがあります。

使用時以外は、差込プラグをコンセントから抜く。
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。

お 願 い

- **水や液体・湿ったごみ・ピン・針・ひも・シンナー・油・ベンジンや殺虫剤などは吸わせない。**
  故障の原因になります。
- **ガラス・カミソリなどの鋭利なものや、大量の砂などは吸わせない。**
  ダストカップや内筒のメッシュに傷が付きます。
- **電源コードを引き出すときは、コード根元の赤マーク以上、無理に引っ張らない。**
  差込プラグの根元が繰り返し折れ曲がると、断線の原因になります。
- **石こう・セメント・チョークなどの、非常に細かい粉を吸わせると内筒のメッシュが目詰まりして、サイクロンの吸じん力が低下します。**
  その場合は、内筒をはずして水洗いしてください。
- **大きなごみや一度に大量のごみを吸わせない。**
  吸込口・ホース・樹脂製ズームパイプ・サイクロン部でごみ詰まりの原因になります。
- **取扱いはやさしく。**
  ホースを急激に引っ張ったり、踏んだり、また重い物を載せないでください。
- **排気口に指・ヘアピン・つまようじ・コインなどを入れない。**

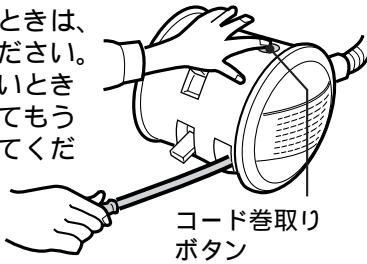
- **クリーニングサイン(ランプ点滅とアラーム音)がお知らせしたら手元スイッチを切り、ダストカップのごみを捨ててください。**
  また内筒のメッシュを月2回、本体のフィルターを、月1回お手入れしてください。
- **ダストカップ・内筒とクリーニングリング・吸込口・回転ブラシの水洗い後は、乾いた布で水滴を拭き取ってください。**
- **フィルターの水洗い後は、陰干しして十分に乾燥してからお使いください。**
- **この掃除機は家庭用です。業務用としての使用はできません。**
- **お掃除以外に使用したり、吸込口を密閉して使用しないでください。**
  故障の原因になります。
- **土間などを掃除すると、吸込口が傷付きますので、おやめください。**
- **樹脂製ズームパイプを、伸ばしたまま立てて収納するときは、ひも掛け穴にひもを通し、市販の「吊り金具」などに掛けて固定してください。**
  倒れてけがや床面を傷付ける原因になります。

各部のなまえ

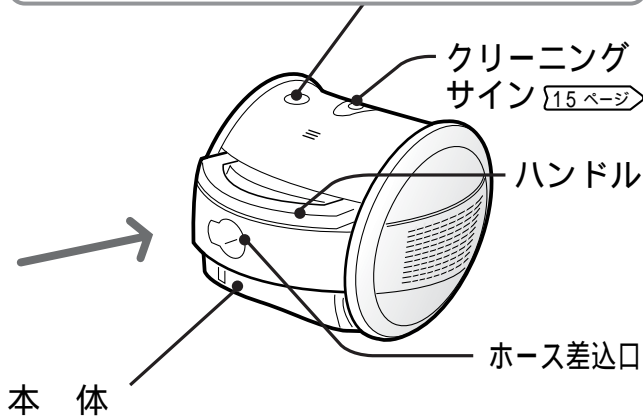
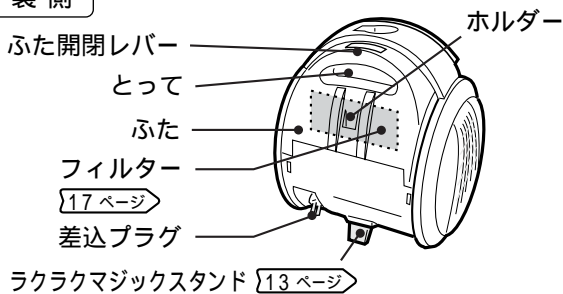
内の数字は主な説明のあるページを示します。

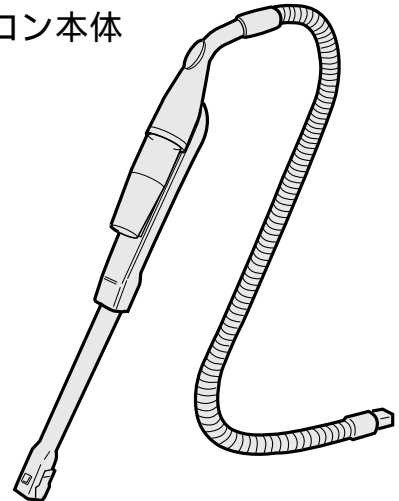
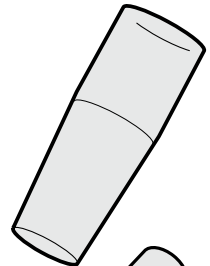
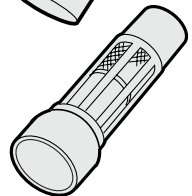
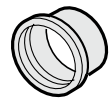
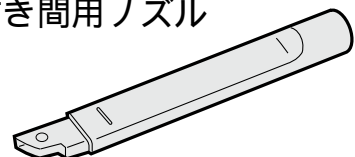
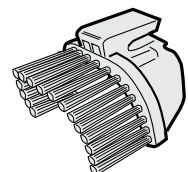
付属品

コード巻取りボタン

コードを巻き取るときは、ボタンを押してください。完全に巻き取れないときは、少し引き出してもう一度ボタンを押してください。

● コードを引き出すときは、コード根元の赤マーク以上引っ張らないでください。断線の原因になります。

●運転中モーターの排気熱により、本体やコードが熱くなりますが、異常ではありません。

裏 側

● 吸込口を床面から浮かすと、回転ブラシは回転しません。

● 回転ブラシの回転力は、お掃除モードや床面により異なります。また場合により回転ブラシが停止することがあります。

印刷物付属品 (1部)

取扱説明書(保証書付)

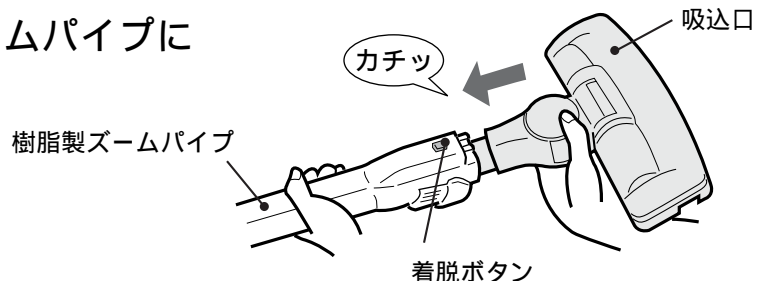
ご使用前の準備

ご使用前にダストカップ内の印刷物「ダストカップの取り付けかた」は、取り出してください。
ダストカップの取りはずしかたは 14 ページ **をご覧ください。**

1 サイクロン本体のホースを本体に取り付ける。

- ホース側の電極ピンは2本です。
- 本体側の穴は4カ所です。

2 サイクロン本体裏側の伸縮ボタンを押し、樹脂製ズームパイプの長さを調節する。

3 吸込口を樹脂製ズームパイプに取り付ける。

4 差込プラグをコンセントに差し込む。

- ホースを本体に取り付けるときは、ホースの向きをホース差込口に合わせ、「カチッ」と音がするまで差し込んでください。
- ホース・吸込口をはずすときは、着脱ボタンを押したまま引き抜いてください。

基本的な操作のしかた

手元スイッチの使いかた

ふだんのお掃除

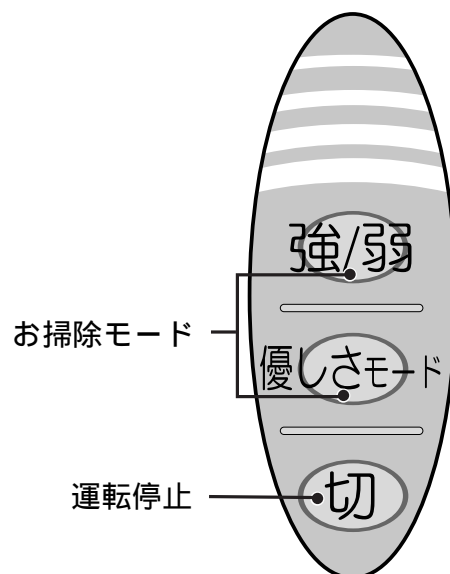
1 強/弱 を押す。

強弱は、お掃除の場所に合わせて選んでください。
(10ページ)

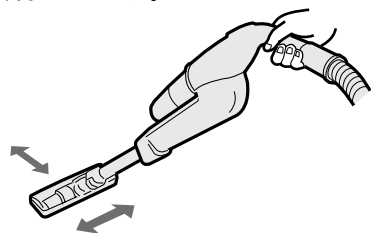
2 運転を止めるときは 切 を押す。

夜など音が気になるとき

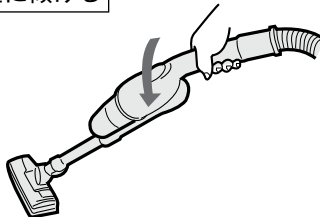
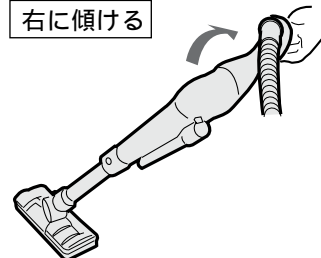
- 優しさモードをお使いください。

- 強 弱 優しさモード 運転によって、回転ブラシの動作は異なります。(10ページ)

"奥の手"機能の使いかた

通常のお掃除

通常の前後の動きの他に、図のように、左右にも楽に動かしてお掃除できます。

狭い所のお掃除

吸込口を少し押し付けながら手元をひねると、吸込口の向きが変わります。

左に傾ける

右に傾ける

場所に合わせたお掃除のしかた

差込プラグをコンセントに差し込み、お掃除モードを選び、手元スイッチを押します。

強/弱 優しさモード 切

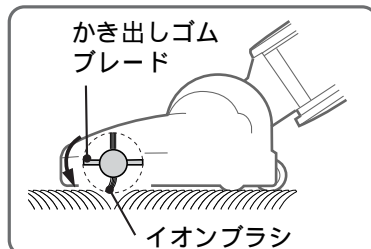
じゅうたん

 を1回押す。

本体が **強** で動作します。

 を押す。

本体の運転が止まります。

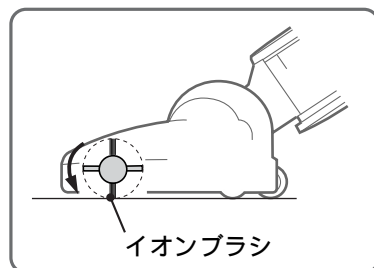
- 吸込口の前面・側面の吸気口から空気を吸い込み、イオンブラシとかき出しゴムブレードを採用した回転ブラシが回転し、じゅうたんにからんだ毛髪、奥まった所にある砂ごみをかき出し、吸うだけでは取りにくいごみやほこりも、しっかり吸じんします。

床・たたみ

 を2回押す。

本体が **弱** で動作します。

切 を押す。

本体の運転が止まります。

- イオンブラシで、ごみ・糸くずや床の目地などに入ったほこりを吸い取ります。

カーテン・すき間

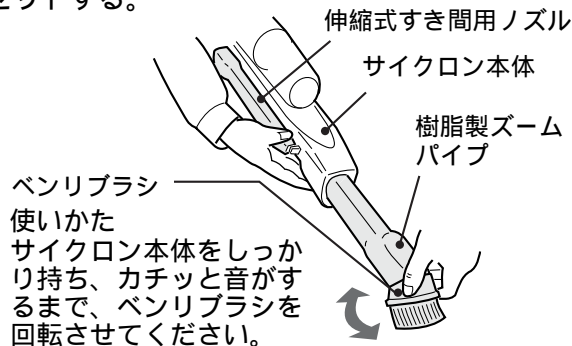
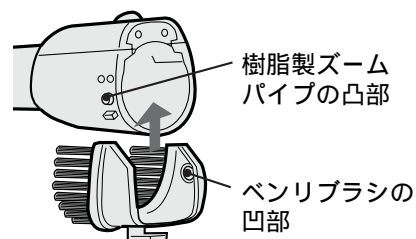
まず樹脂製ズームパイプの先に、伸縮式すき間用ノズルを取り付ける。または、ベンリブラシをセットする。

 を押す。

本体が **優しさモード** で動作します。

切 を押す。

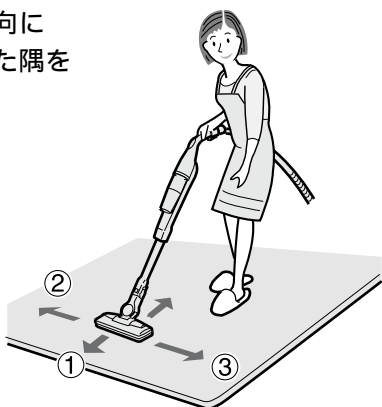
本体の運転が止まります。

ベンリブラシ使いかた
サイクロン本体をしっかり持ち、カチッと音がするまで、ベンリブラシを回転させてください。

- ベンリブラシを強く引っ張らないでください。はずれる場合があります。はずれたときは、ベンリブラシの凹部を、樹脂製ズームパイプの凸部に合わせ、はめ込んでください。(両側2カ所)
- 取り付けの際は指を挟まないよう、ご注意ください。

お掃除(じゅうたん, 床·たたみ)の際の吸込口の動かしかた

① 掃除機の吸込口は床面に強く押し付けないで、ゆっくりと軽く前後に動かします。
② 掃除機の吸込力と、吸込口の回転ブラシによるかき出し力が効果的にはたらき、楽な姿勢でお掃除ができます。

夜などの音が気になる場合は **優しさモード** をお使いください。ただし、吸込口の回転ブラシの回転は弱くなり、場合によっては回転ブラシが停止することがあります。

① まず一定方向に
② 次に直角方向に
③ 最後に残った隅を

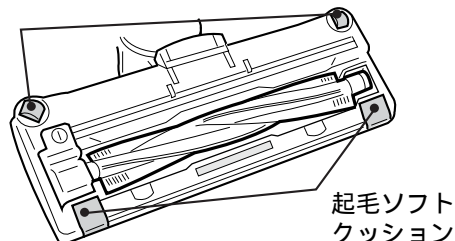
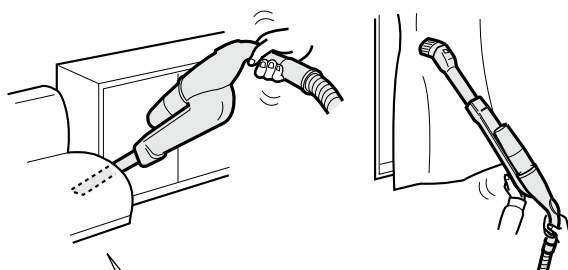
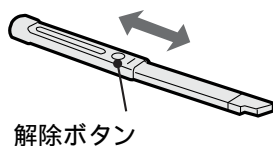
お掃除します。

- 吸込口を空中に浮かすと、安全のため回転ブラシは停止します。
- じゅうたんの種類によっては回転ブラシが停止することがあります。このときは吸込口を引きながらお掃除してください。
- はじめてお使いのときは、回転ブラシのかき出しでダストカップにじゅうたんの遊び毛などのごみが多く吸い込まれますので、早めにごみを捨ててください。徐々にごみが少なくなります。
- 吸込口を同じ場所で長く使ったり、じゅうたんや床・たたみに強く押し付けると、じゅうたんや床・たたみを傷めることがあります。

傷付き防止のため床やたたみの目にそって軽くすべらせます。

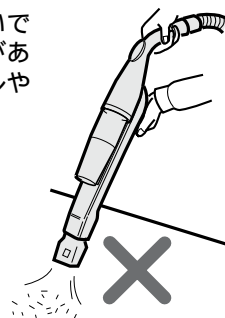
お願い

- 床・たたみで手元スイッチを **強** でお掃除しないでください。回転ブラシの強い回転で、傷付きの原因となることがあります。

お知らせ

- 新築などのワックスがけされた床は吸込口の移動により、光沢の差がでることがあります。
  光沢の差がでたときは、水を含ませた布で拭き取った後、ワックス拭きをし、乾燥させてください。
- 吸込口を床に強く押し付けたり**自在車輪・起毛ソフトクッションが摩耗していると、床面を傷めることがあります。**
  自在車輪・起毛ソフトクッションが摩耗しているときは、お買いあげの販売店にご相談ください。

こんな所にお使いください

伸縮式すき間用ノズルの使いかた

- 伸ばすときは「カチッ」と音がするまで伸ばします。
- 縮めるときは解除ボタンを押しながら縮めます。

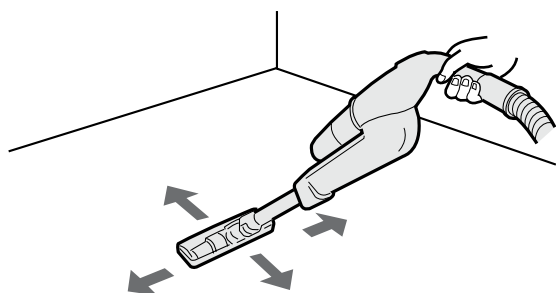
解除ボタン

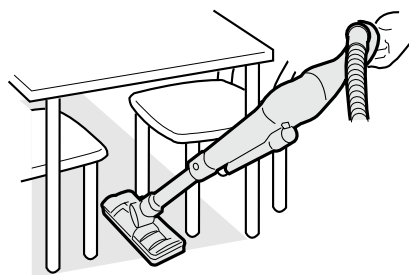
- サイクロン本体のみでお掃除しないでください。故障の原因になることがありますので、伸縮式すき間用ノズルやベンリブラシをお使いください。
- 伸縮式すき間用ノズルは、**優しさモード** でお使いください。
- 伸縮式すき間用ノズルをはずすときは、回しながら抜いてください。

- カーテンなどの高い場所をお掃除するとき､ダストカップが逆さまになっても､ごみはダストカップに溜まります。
  手元スイッチの｢切｣を押す場合は､吸込口を下に向けてからおこなってください。また､内筒のメッシュへごみが付着する場合がありますので､その場合はダストカップのごみを捨ててください。(14ページ)

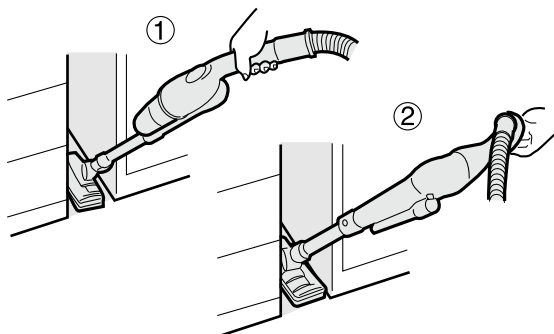
・・・ 場所に合わせたお掃除のしかた

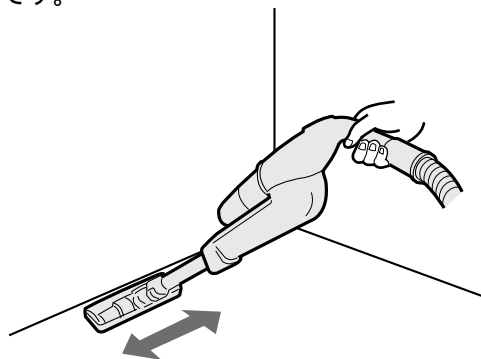
お掃除のポイント

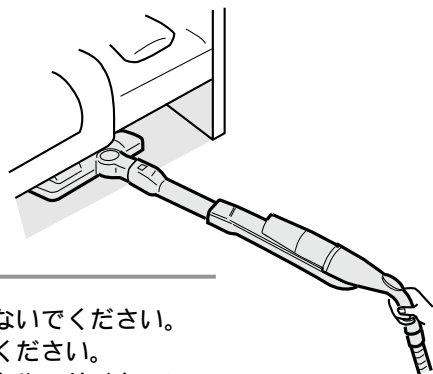
広　い　所

前後のお掃除だけでなく、吸込口を左右に動かしてお掃除すると便利です。

テーブルの下

吸込口をたて向きにしてお掃除すると、椅子を動かす手間が省け、便利です。

家具と家具のすき間

吸込口をたて向きにして、①・② の両方向ですき間をお掃除すると、ごみがよく取れます。

お部屋の隅や壁ぎわ

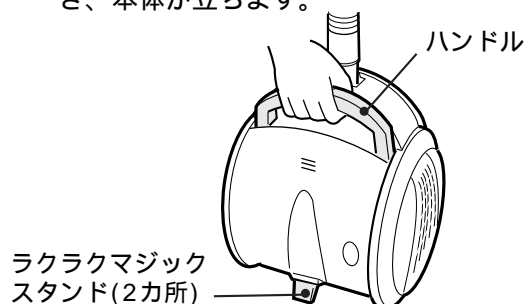
壁ぎわに吸込口の向きを合わせて、お掃除すると便利です。

ベッドの下など

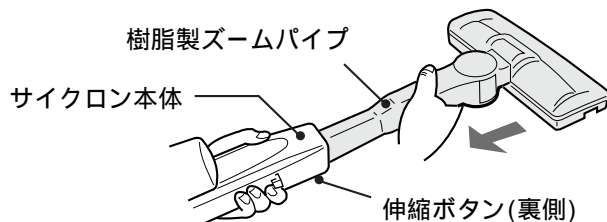
樹脂製ズームパイプを寝かせると、フラットアングル(水平な状態)で、楽にお掃除できます。

- **一度に多量のごみ・ティッシュなどの大きいごみを吸わせないでください。**
  とくに 優しさモード で一気に多量のごみを吸わせないでください。
  内筒のメッシュやクリーニングリングへのごみのからみつきや、サイクロン本体のごみ詰まりの原因になります。

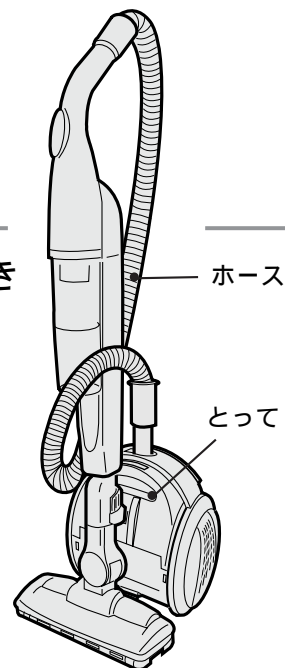
収納のしかた

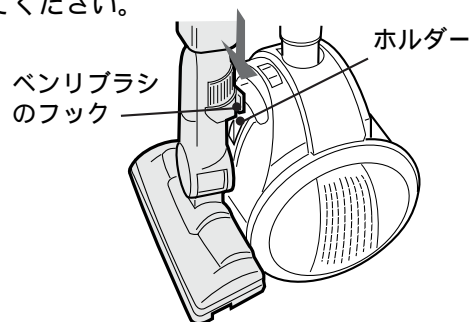
スタンド収納のしかた

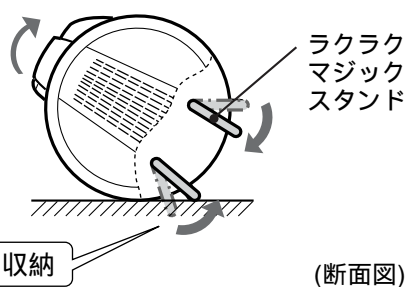
1 本体を立てる。

ハンドルを持ち本体を引き上げ、まっすぐに床面に置いてください。
ラクラクマジックスタンド(2カ所)が開き、本体が立ちます。

2 樹脂製ズームパイプを縮める。

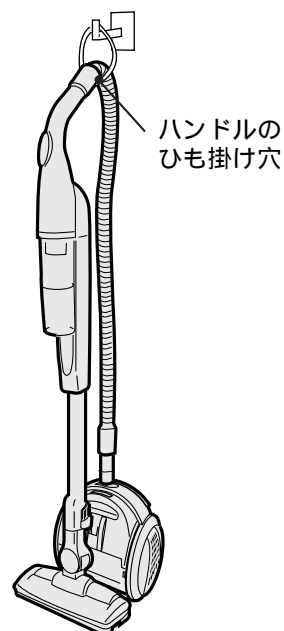
サイクロン本体裏側の伸縮ボタンを押し、樹脂製ズームパイプを縮めてください。

3 ホースを巻き付ける。

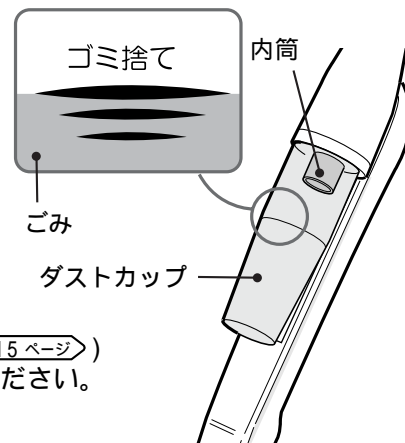
サイクロン本体を1回転させて、ホースを巻き付けます。

4 樹脂製ズームパイプのベンリブラシのフックを、本体裏面のホルダーの傾斜にそって差し込む。

ベンリブラシは元の位置に確実に戻しておいてください。

ラクラクマジックスタンドについて

ラクラクマジックスタンドは通常開いており、床に当たると同時に収納され、本体がスムーズに反転動作します。

(断面図)

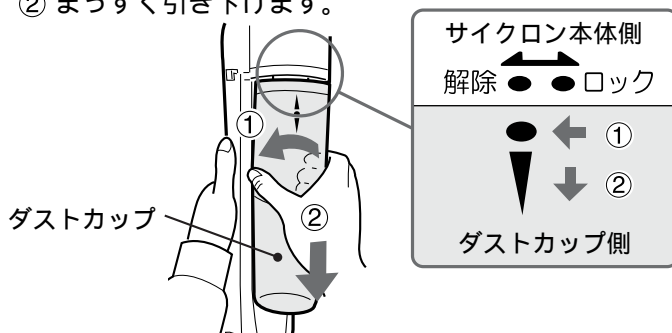
● 樹脂製ズームパイプを伸ばしたままスタンド収納するときは、ハンドルのひも掛け穴にひもなどを通し、市販の「吊り金具」などに掛けてください。

● 「吊り金具」などに掛けるときは宙吊りにしないでください。
吊り金具が抜け、倒れてけがや床面を傷付ける原因になります。
● 本体が倒れると危険です。とくにお子様にはご注意ください。
● スタンド収納状態のままで持ち運ばないでください。
サイクロン本体がはずれる場合があります。

ごみの捨てかた

- 衛生面から、お掃除のつどごみを捨てることをおすすめします。
- **ごみがダストカップの「ゴミ捨て」ラインまで溜まる前に、必ずダストカップのごみを捨ててください。**「ゴミ捨て」ラインを越えてそのまま使用を続けると、内筒のメッシュへごみが付着する原因になります。
- **内筒のメッシュやフィルターが目詰まりした場合、クリーニングサイン(ランプ点滅とアラーム音)でお知らせし、運転を停止します。(15 ページ)**
- **ダストカップをはずすときに内筒のメッシュがクリーニングされます。**(15 ページ)
  月2回は内筒とクリーニングリングを中性洗剤で洗った後、水洗いをしてください。
  (16 ページ)

ダストカップを取りはずす

1 手元スイッチの **を押し、差込プラグをコンセントから抜く。**

2 ダストカップを左に回し引き下げる。

サイクロン本体をまっすぐに立てます。
左手でサイクロン本体を握り、ダストカップを右手で持ち、
① ダストカップの●印がサイクロン本体の解除●印の位置にくるまで左に回し、
② まっすぐ引き下げます。

- ダストカップをいきおいよく引き下げないでください。ごみが飛び散る場合がありますので、ゆっくりおこなってください。

3 ダストカップを手前にゆっくりと引き出す。

- ダストカップを引き出した後、サイクロン本体はごみが落ちないように床に寝かせておいてください。

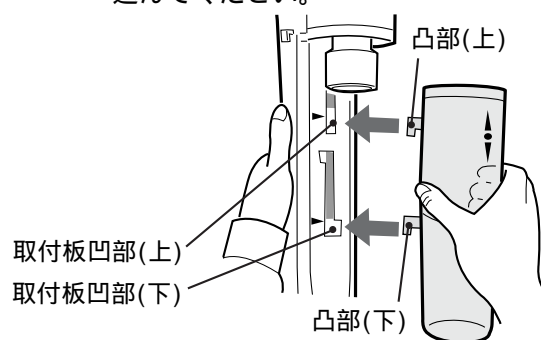
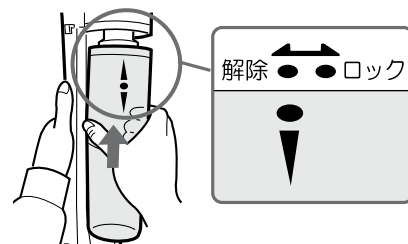
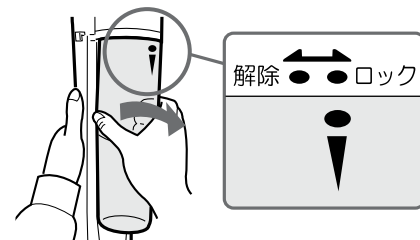
4 ダストカップ内のごみを捨てる。

- ダストカップのごみを捨てるときは、ダストカップをごみ捨て面へ近付け、さかさまにし、静かに引き上げるようにすると、ほこりの舞い立ちが防げます。

- **ごみの種類により「ゴミ捨て」ラインにごみが溜まる前に吸い込みが悪くなり、クリーニングサイン(ランプ点滅とアラーム音)でお知らせする場合があります。(15 ページ)**
  その場合はごみを捨てて、内筒とクリーニングリングやフィルターのお手入れをしてください。(16,17 ページ)
- **ごみの種類によりダストカップの操作がかたくなる場合があります。その場合はごみを捨てて内筒とクリーニングリングやダストカップのお手入れをしてください。(16, 23 ページ)**

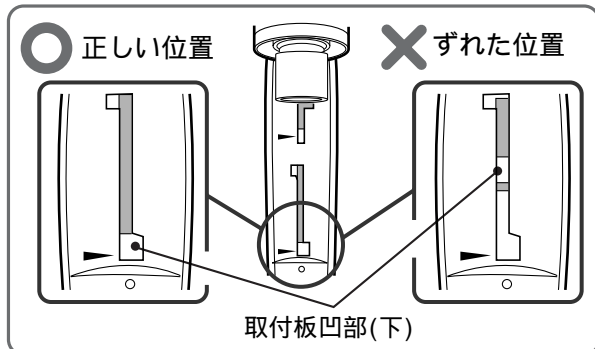
ダストカップを取り付ける

1 サイクロン本体をまっすぐに立て、ダストカップの「ゴミ捨て」マーク側を正面に持ち、サイクロン本体の、取付板凹部上下の2カ所に、ダストカップの凸部をはめ込みます。

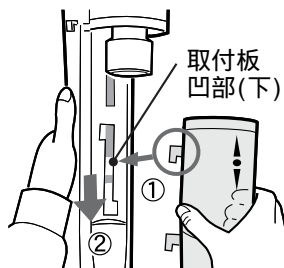
上下の2カ所(► 印)とも確実にはめ込んでください。

2 ダストカップの上向き▲印がかくれるまで押し上げます。

3 右に回して、ダストカップ ● 印を、ロック ● 印に合わせます。

内筒のメッシュのクリーニングについて

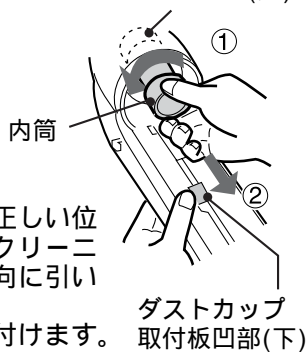
① ダストカップをはずす動作とクリーニングリングが連動して、内筒のメッシュがクリーニングされます。
② メッシュに付着したごみを念入りに取る場合は、カップをしっかり持ち左に回してからゆっくり 2〜3回上下させてください。
③ ごみの種類によっては内筒メッシュに付着したごみが落ちない場合がありますので、月2回は内筒とクリーニングリングを中性洗剤で洗った後、水洗いしてください。(16 ページ)

● ダストカップをいきおいよく上下させないでください。細かいほこりが飛び散る場合がありますので、ゆっくり動かしてください。

ダストカップ凸部(上)だけをはめ込んで上下させると、取付板がずれて、ダストカップが取り付かなくなります。

取付板がずれている場合のもどしかた
1・2のいずれかをおこなってください。

もどしかた 1

① ダストカップ凸部(上)を、取付板凹部(下)に引っ掛ける。
② 取付板を、いちばん下の位置まで移動させる。

もどしかた 2

① 内筒をつまんで矢印①方向に回します。
② 内筒を矢印②方向に引くとダストカップ取付板が正しい取付位置にもどります。
③ ダストカップ取付板が正しい位置にもどらない場合はクリーニングリングを矢印②方向に引いてください。
④ 内筒を逆の手順で取り付けます。

● ごみがサイクロン本体に詰まっていると、ダストカップが取り付きません。
この場合、お手入れ(16, 23 ページ)をご覧になり、ごみを取り除いてください。

クリーニングサインについて

内筒のメッシュやフィルターが目詰まりした場合、クリーニングサイン(ランプ点滅とアラーム音)でお知らせします。

〔モーターがパワーダウンをして､約15秒でアラーム音と運転を停止しランプのみ点滅を続けます。〕

● 手元スイッチを 切 にしてダストカップ内のごみを捨ててください。
続けてお使いになる場合は､約2分後に手元スイッチを押してください。
(2分以内でお使いになると再びランプ点滅とアラーム音でお知らせすることがあります。)
● 内筒と、クリーニングリング(月2回)・フィルター(月1回)のお手入れをしてください。

処置のしかた

内筒とクリーニングリングやフィルターのお手入れ(16,17 ページ)をご覧になり、お手入れをしてください。

● 内筒とクリーニングリングやフィルターのお手入れをしないで、そのまま続けて 強/弱 優しさモード を押さないでください。故障の原因になります。

● ご使用状況(室温･お掃除モードの種類など)によっては､クリーニングサインのお知らせがなくても、吸い込みが弱くなることがあります。
この場合、内筒やクリーニングリングと、フィルターのお手入れ(16,17 ページ)をしてください。

お手入れ

お手入れの際は、必ず**「切」**スイッチを押し、
差込プラグをコンセントから抜いてください。

ダストカップは

ダストカップがほこりで
汚れたときなど。

1 **ダストカップを中性洗剤で洗った後、水洗いする。**

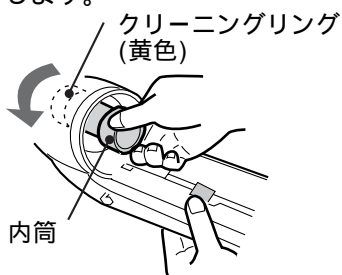
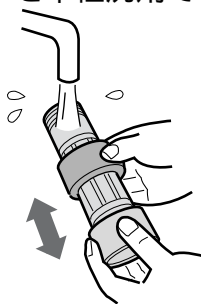
2 **まわりに付いた水を拭き取る。**
柔らかい乾いた布で水滴を拭いた後、ダストカップを
取り付けます。

内筒とクリーニングリングは

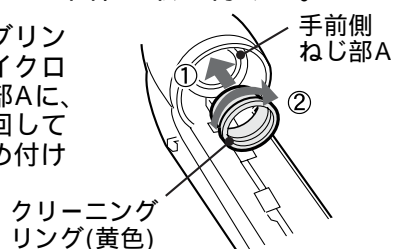
ごみの種類によって内筒のメッシュが汚れる場合がありますので、**月2回、内筒とクリーニングリングを中性洗剤で洗った後、水洗いしてください。また、内筒に大量のごみが付着したときも水洗いしてください。**

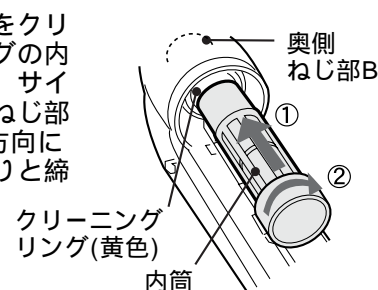
1 **サイクロン本体から内筒とクリーニングリングを回してはずす。**

① サイクロン本体を逆さに傾けてごみが落ちないようにして、内筒をつまんでネジを矢印方向に回してはずします。

② クリーニングリングをつまみ矢印方向に回してはずします。

2 **内筒とクリーニングリングを中性洗剤で洗った後、水洗いする。**
水道水を流し込みながらクリーニングリングを上下させ、クリーニングリングを内筒からはずし、乾いた布で水滴を確実にとる。

3 **内筒とクリーニングリングをサイクロン本体に取り付ける。**

①クリーニングリングねじ部をサイクロン本体のねじ部Aに、②時計方向に回してしっかりと締め付けます。

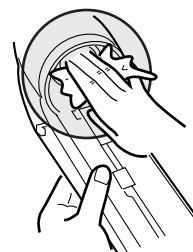
手前側
ねじ部A
クリーニングリング(黄色)

①内筒ねじ部をクリーニングリングの内側に差し込み、サイクロン本体のねじ部Bに、② 時計方向に回してしっかりと締め付けます。

お願い

クリーニングリングをねじ部 A に取り付けていないと、内筒のメッシュ部やサイクロン本体にごみが詰まりやすくなります。必ず、しっかりと締め付けてください。

サイクロン本体は

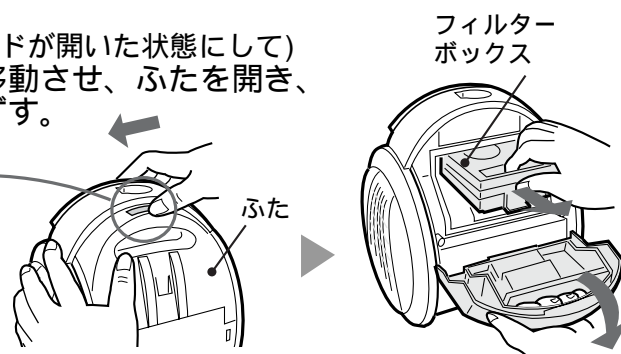
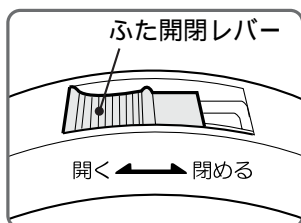
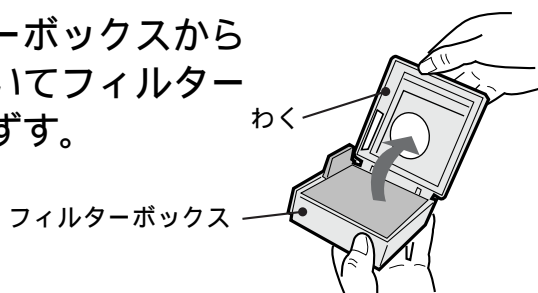
サイクロン本体にごみが詰まった
ときなど。

1 **サイクロン本体から内筒とクリーニングリングを回して取りはずす。**

2 **詰まっているごみを取り除いてから、内筒とクリーニングリングをサイクロン本体に取り付ける。**
奥のごみはピンセットなどで取り除いてください。

- 薬剤・漂白剤や温水などを使用しないでください。
- ダストカップの表面を傷めることになりますので、毛の硬いブラシで洗わないでください。
- ドライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。
- 内筒のメッシュを傷めることになりますので、毛の硬いブラシで洗わないでください。
- 内筒とクリーニングリングをサイクロン本体に取り付けるときは、ねじ部のこじれがないようにしっかりと締めてください。また、内筒のメッシュを強く押さないでください。

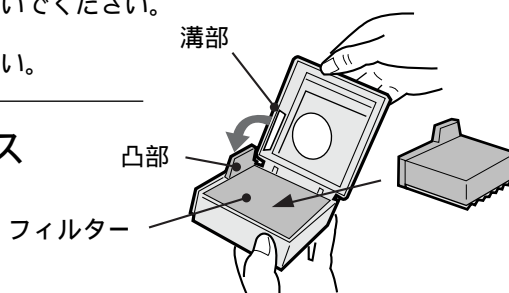
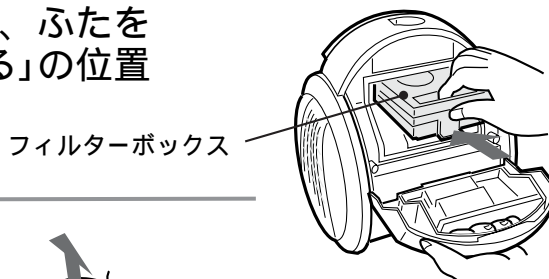
フィルターは

月1回、水洗いしてください。非常に細かいごみがたくさん溜まると吸込力を著しく低下させる原因になります。

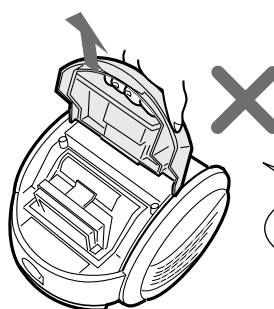
1 **本体を立てて、(ラクラクマジックスタンドが開いた状態にして)ふた開閉レバーを「開く」の位置まで移動させ、ふたを開き、フィルターボックスを引いて取りはずす。**

2 **フィルターボックスからわくを開いてフィルターを取りはずす。**

3 **フィルターボックス･フィルターを水洗い(押し洗い)する。**

フィルターを押して水を切り、陰干しして乾燥させてください。
油などで汚れが落ちない場合は、中性洗剤で洗った後、水洗いしてください。

- フィルターは二重構造になっています。それぞれのフィルターを強く引っ張ったり、ねじったりすると、ちぎれることがありますので、おやめください。
- フィルターの水洗い後は十分に乾燥させてください。水を含んだまま運転するとモーターの故障の原因になります。
- フィルターを洗濯機で洗ったり、もみ洗いしないでください。
- フィルターをねじってしぼらないでください。
- ドライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。

4 **フィルターの凸部をフィルターボックスの溝部に合うように取り付け、わくを閉める。**

5 **フィルターボックスを取り付け、ふたを閉めた後、開閉レバーを「閉める」の位置まで移動させる。**

フィルターボックス

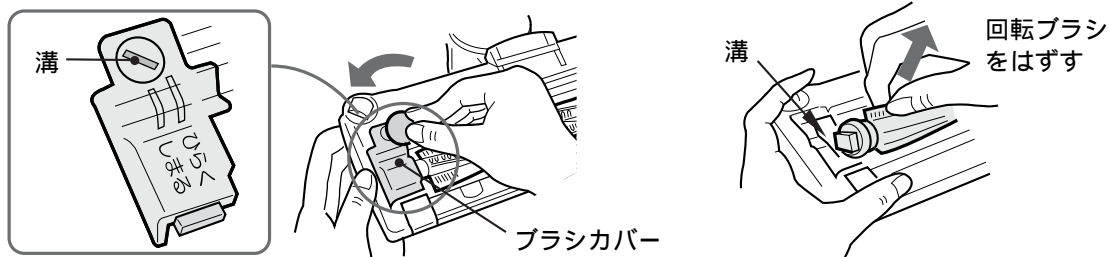
- フィルターとフィルターボックスを取り付けていないと、ふたは閉まりません。

- フィルターは必ず所定の場所に取り付けてください。
  吸込力の低下やモーターの故障の原因になります。
- ふたを開けた後、そのままふたを持って移動させないでください。

回転ブラシは ／ 糸くず・毛髪などがからみついたときなど。

差込プラグをコンセントから抜いた後、吸込口を裏返します。

1 ブラシカバーをはずして回転ブラシをはずす。

① ブラシカバーの溝にコインなどを入れ､「ひらく」の位置まで回して、ブラシカバーをはずします。

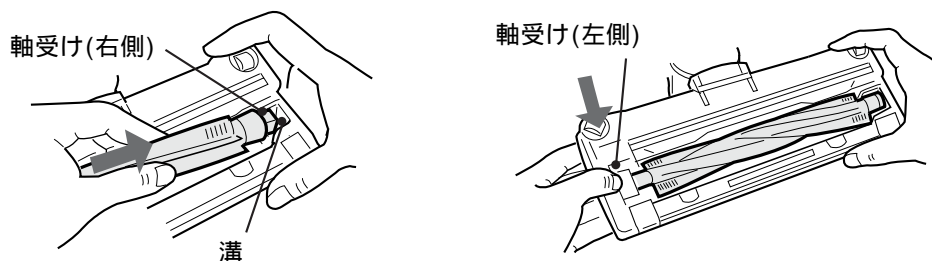
② 回転ブラシを持ち上げ、溝から回転ブラシをはずします。

2 回転ブラシや自在車輪に付いた糸くずや毛髪などを切って取り除く。

回転ブラシの汚れが目立つようなら水洗いした後、乾いた布で水を拭き取り、陰干しして十分に乾燥させてください。自在車輪は水を含ませた布で拭いてください。

- 薬剤・漂白剤や温水などを使用しないでください。
- 毛の硬いブラシで洗わないでください。
- ドライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。
- 回転ブラシに注油しないでください。プラスチックが割れる原因になります。

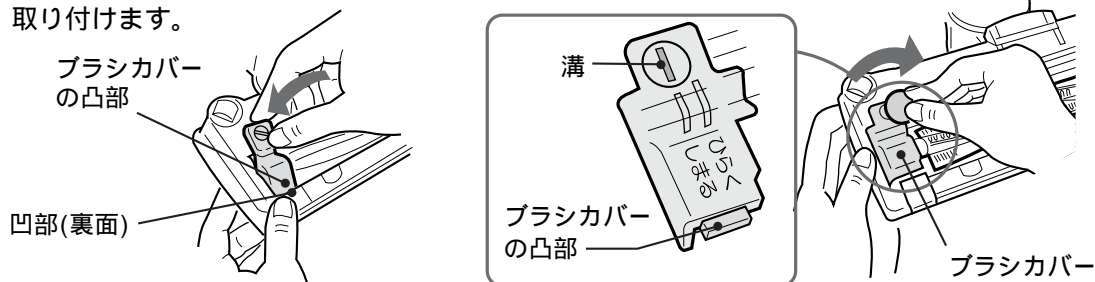
3 回転ブラシを付ける。

① 軸受け(右側)を溝に入れます。

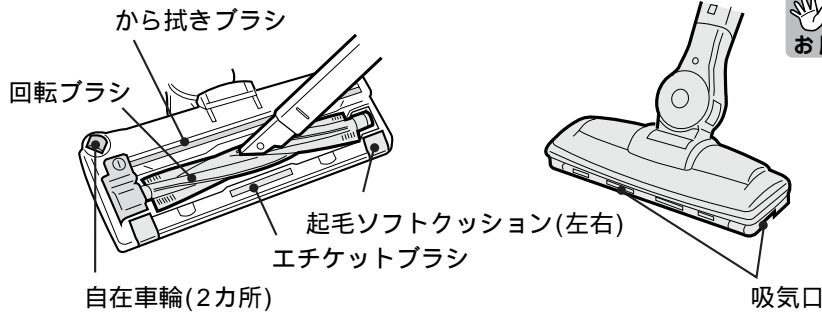
② 軸受け(左側)を溝に入れます。

- 回転ブラシは左右どちらの方向でも取り付けられます。

4 ブラシカバーを閉める。

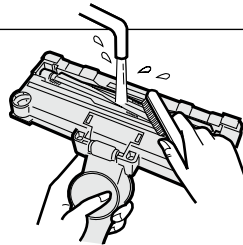
① ブラシカバーの凸部を吸込口裏面の凹部に掛けて、ブラシカバーを取り付けます。

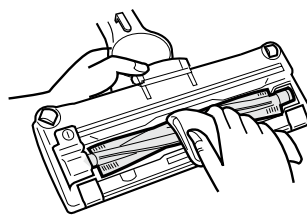
② ブラシカバーの溝にコインなどを入れ、「しまる」の位置まで回して、ブラシカバーを閉めます。

- ブラシカバーを必ず閉めてから吸込口をお使いください。
- ブラシカバーの溝に爪を入れて回さないでください。けがをすることがあります。
- 糸くずやひもなどを吸い込ませないでください。回転ブラシがロックし、故障の原因になります。

吸込口は／汚れが目立ってきたときに。

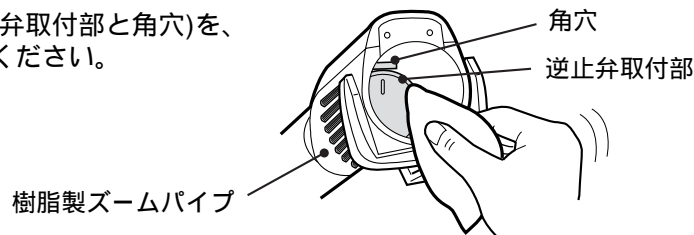
1 **回転ブラシ･から拭きブラシ･エチケットブラシ･起毛ソフトクッション･自在車輪･吸気口**
各部のごみを、伸縮式すき間用ノズルで吸い取る。

- から拭きブラシ･エチケットブラシ･起毛ソフトクッション･自在車輪に糸くずがからみついたときは､セロテープなどを貼り付けてはがしてください。
- 吸気口にごみが付くと、ブラシの回転が弱くなるので掃除してください。
- 回転ブラシ・自在車輪に付いた糸くずなどは切って取り除いてください。

2 **吸込口を水道で洗う。**

回転ブラシを取りはずして別々に水洗いもできます。

- 図のように水洗いしてください。
- 洗剤・漂白剤などを使用しないでください。
- **毛の硬いブラシ**で洗わないでください。

3 **よく振って水を切り、まわりについた水を拭き取る。**

- 乾いた布で拭いた後、陰干しにして十分に乾燥させてください。
- 回転ブラシに注油しないでください。プラスチックが割れる原因になります。ドライヤー・暖房機などで乾燥させないでください。

樹脂製ズームパイプは／樹脂製ズームパイプ内にごみが付着し、吸込口が取り付かないときに。

樹脂製ズームパイプの内側(逆止弁取付部と角穴)を、柔らかい布などでお手入れしてください。

本 体 は／汚れが目立ってきたときに。

水または、中性洗剤を含ませた布で拭き取ります。ほこりが取れ、静電気も抑えられます。

- シンナー・ベンジン類は変質や変色しますので使わないでください。

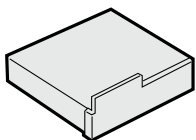
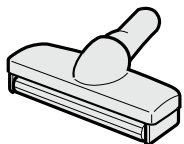
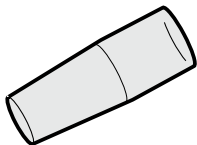
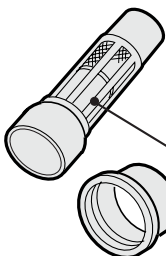
- HEPAクリーンフィルターは、お手入れの必要はなく、取りはずしはできません。

仕　様

電　源	100V　50-60Hz
消費電力	750〜約300W (手元スイッチが「切」時、約0.8W)
吸込仕事率	200〜約60W
運転音	55〜約45dB
集じん容積	0.5L
質　量	4.3kg (吸込口・樹脂製ズームパイプ・サイクロン本体含む)
本体寸法(mm)	幅250×奥行261×高さ205
コードの長さ	5m

※吸込仕事率とは、JIS規格に定められている吸込力の目安で、最大(〜最小値)を表示しています。
使用時の吸塵力は吸込仕事率以外に吸込具の種類や床材の違いなどによって異なります。
お掃除の際は、ふさわしいポジションをお選びください。

別売品

お買いあげの販売店、またはお近くのシャープ製品取扱店でお買い求めください。
(希望小売価格は2004年2月現在のものです。)

● **フィルター**
フィルターボックス内に装備
希望小売価格1,365円
(税抜価格1,300円)
流通コード
217 213 0058

● **ふとんブラシ**
希望小売価格1,680円
(税抜価格1,600円)
流通コード
217 935 0674

● **ダストカップ**
希望小売価格2,205円
(税抜価格2,100円)
流通コード
217 137 0081(EC-AT2-A)
217 137 0083(EC-AT2-Y)

● **内筒クリーニングセット**
希望小売価格2,520円
(税抜価格2,400円)
流通コード
217 395 0646

保証とアフター

修理を依頼されるときは　持込修理

1 「故障かな?」(22,23ページ)を調べてください。
2 それでも異常があるときは使用をやめて、必ず差込プラグを抜いてください。
3 お買いあげの販売店にご連絡ください。

保証書

● **保証期間…お買いあげの日から1年間です。**
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

保証期間中

● 修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

● 修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

補修用性能部品の保有期間

● 当社は掃除機の補修用性能部品を製造打切後、6年保有しています。
● 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理料金のしくみ

● 修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ

お客様へ … お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電話(　　　)　　―

サービス
お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについての「ご相談」ならびに「ご依頼」は、
お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は……　**シャープ修理相談センター** へ
- 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は………　**シャープお客様相談センター** へ

シャープ修理相談センター

● **修理相談センター** (沖縄・奄美地区を除く)

■ 受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時 (年末年始を除く)

0570-02-4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせいたします。
(注) 携帯電話・PHSからは、下記電話におかけください。

		〈東日本地区〉	〈西日本地区〉
● **携帯電話／PHS**でのご利用は……	(一般電話)	043-299-3863	06-6792-5511
● **FAX**を送信される場合は…………	(F A X)	043-299-3865	06-6792-3221

● **沖縄・奄美地区**については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

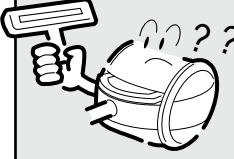
◎ 「**持込修理**」および「**部品購入**」のご相談 は、上記「**修理相談センター**」のほか、
下記地区別窓口にても承っております。

■ 受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後5時30分 (祝日など弊社休日を除く)
〔ただし、沖縄・奄美地区〕は…＊月曜～金曜：午前9時～午後5時30分 (祝日など弊社休日を除く)

担当地区	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札　幌 サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙　台 サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたま サービスセンター	048-666-7987	〒331-0812	さいたま市北区宮原町2-107-2
	宇都宮 サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東　京 テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多　摩 サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千　葉 サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横　浜 テクニカルセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静　岡 サービスセンター	0543-44-5781	〒424-0067	静岡市清水鳥坂1170-1
	名古屋 サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金　沢 サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚4-103
近畿地区	京　都 サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大　阪 テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	神　戸 サービスセンター	078-453-4651	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
中国地区	広　島 サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高　松 サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福　岡 サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄・奄美地区	那　覇 サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

シャープお客様相談センター

■ 受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時 (年末年始を除く)

東日本相談室	TEL **043-297-4649**	FAX 043-299-8280	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL **06-6621-4649**	FAX 06-6792-5993	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

●所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。(0312)

故障かな？

次のような場合は、故障でない場合がありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。

使用中にランプ点滅とアラーム音でお知らせ後、約15秒で本体の運転が停止する。
内筒のメッシュやフィルターが目詰まりした場合、クリーニングサイン(ランプ点滅とアラーム音 15ページ)でお知らせし、運転が止まります。次の処置をしてください。

こんなとき	次の点をお調べください	次の処置をしてください
● **ランプ点滅とアラーム音がお知らせし本体の運転が止まる**	● ごみがダストカップにいっぱいになっていませんか。	● ごみを捨ててください。(14ページ)
	● 内筒のメッシュやフィルターが目詰まりしていませんか。	● 内筒とクリーニングリングやフィルターのお手入れをしてください。(16,17ページ)
	● ティッシュなどの大きいごみが内筒に巻き付いていませんか。	● ごみを取り除いてください。
	● サイクロン本体にごみが詰まったまま長く使用していませんか。	● お手入れをしてください。(16ページ)
	● ホース·樹脂製ズームパイプ·吸込口などに、ごみが詰まったまま長く使用していませんか。	● ごみを取り除いてください。

こんなとき	次の点をお調べください	次の処置をしてください
● **手元スイッチを入れてもモーターが動かない**	● 差込プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	● 差込プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。
	● ホースがホース差込口にしっかり差し込まれていますか。	● ホースをホース差込口にしっかり差し込んでください。
	● クリーニングサインのランプが点滅していませんか。 ● 内筒のメッシュやフィルターが目詰まりしていませんか。	● 内筒とクリーニングリングやフィルターのお手入れをしてください。(16,17ページ)
	● ホース・樹脂製ズームパイプ·吸込口などにごみが詰まっていませんか。	● ごみを取り除いてください。
● **吸込力が弱い**	● ダストカップがごみでいっぱいになっていませんか。 ● **内筒のメッシュが目詰まりしていませんか。** ● サイクロン本体にごみが詰まっていませんか。 ● **フィルターが目詰まりしていませんか。**	● お手入れをしてください。(16,17ページ)
	● フィルターボックスが確実に取り付けられ、ふたが閉まっていますか。	● 確認してください。(17ページ)
	● 樹脂製ズームパイプ·吸込口などに、ごみが詰まっていませんか。	● ごみを取り除いてください。
	● クリーニングリングが取り付けられてなく、ごみが詰まっていませんか。	● クリーニングリングをしっかり取り付けてください。(16ページ)
● **コードが巻き取れない**	● 片よって巻き取られたり、よじれていませんか。	● 少し(1～2m)引き出して、再度巻き取ってください。
● **差込プラグおよびコードが異常に熱い**	● 差し込みがゆるくぐらついていませんか。	● コンセントの修理を販売店でご相談ください。
	● 延長コードを使用していませんか。(差込プラグおよびコードは通常40℃程度の温度になりますが、異常ではありません。)	● 延長コードをやめコンセントに直接差し込んでください。
● **吸込口の動きが悪い**	● 自在車輪に毛髪などが巻き付いていませんか。	● 毛髪などを取り除いてください。
● **ダストカップがサイクロン本体に取り付かない**	● サイクロン本体にごみが詰まっていませんか。	● サイクロン本体のごみを取り除いてください。(16, 23ページ)
	● ダストカップ取付板が上に上がっていませんか。	● ダストカップ取付板をいちばん下まで下げてください。(15ページ)

こんなとき	次の点をお調べください	次の処置をしてください
● ダストカップの取りはずしが重い	● クリーニング(黄色)や内筒のメッシュのお手入れをせずに長く使用していませんか。	● 内筒とクリーニングリングのお手入れをしてください。(16 ページ)
● 運転音が大きい	● ダストカップがごみでいっぱいになっていませんか。 ● 内筒のメッシュが目詰まりしていませんか。 ● サイクロン本体にごみが詰まっていませんか。 ● フィルターが目詰まりしていませんか。	● お手入れをしてください。(16,17 ページ)
● 回転ブラシが回転しない ● 回転ブラシが止まる	● ごみがダストカップいっぱいになっていませんか。	● ごみを捨ててください。(14 ページ)
	● 内筒のメッシュや、フィルターが目詰まりしていませんか。	● 内筒とクリーニングリングやフィルターのお手入れをしてください。(16,17 ページ)
	● ホース・樹脂製ズームパイプ・吸込口などに、ごみが詰まっていませんか。 ● 吸込口の前面・側面の吸気口にごみが詰まっていませんか。	● ごみを取り除いてください。
	● 回転ブラシに糸くずなどが巻き付いていませんか。	● 糸くずなどを取り除いてください。(18 ページ)

以上の処置をしても異常のある場合は、「保証とアフターサービス」(20 ページ)をご覧ください。

ダストカップのサイクロン本体への取り付け操作が重い、またはロックがかからない場合は、次の処置をおこなってください。

内筒・クリーニングリング(黄色)が確実に取り付けられていないとサイクロン本体内に細かいごみが溜まり、ダストカップの取り付けが不具合になる場合があります。
次の手順でごみを取り除いてください。

1 ダストカップのごみを捨ててください。(14 ページ)

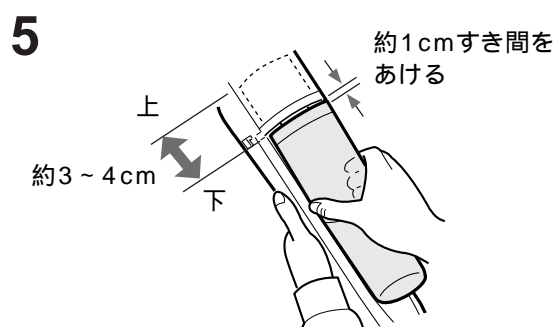
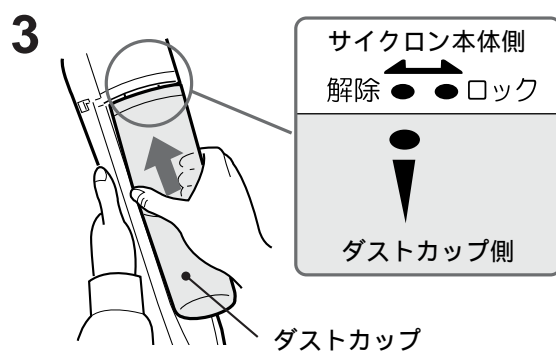
2 内筒とクリーニングリングが確実に取り付けられているか確認してください。

3 ダストカップをサイクロン本体に取り付けて右図の矢印方向に引き上げます。
(図のようにダストカップは解除に合わせます。)

4 差込プラグをコンセントに差し込み、「強」で運転します。

5 「強」の運転状態でダストカップをしっかり持ち、ゆっくりと約3～4cm上下に5～6回動かしてください。
この動作によって、サイクロン本体内部のごみが取り除かれ、カップ内にごみが溜まります。

●上下に動かすときは、指を挟まれないようにご注意ください。

6 電源を「切」にして運転を止めます。

故障かな？
その他

長年ご使用の掃除機の点検を!

このような症状はありませんか?

- スイッチを入れても、ときどき運転しないことがある。
- コードを折り曲げると、通電したりしなかったりする。
- 運転中に異常な音がする。
- 本体ケースが変形したり、異常に熱い。
- こげくさいにおいがする。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中止

故障や事故の防止のため、使用を中止し差込プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

● 製品についてのお問い合わせは…
シャープお客様相談センター
東日本相談室 TEL 043-297-4649 FAX 043-299-8280
西日本相談室 TEL 06-6621-4649 FAX 06-6792-5993
《受付時間》月曜～土曜：午前9時～午後6時　日曜・祝日：午前10時～午後5時 (年末年始を除く)

● 修理のご相談は… 21ページ記載の「お客様ご相談窓口のご案内」をご参照ください。

● シャープホームページ http://www.sharp.co.jp/

シャープ株式会社
本　社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
電化システム事業本部 〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3丁目1番72号

この取扱説明書は，環境にやさしい再生紙および、大豆油インキを使用しています。

TINSJA316VBRZ 04BK ③